

# KiKiの広場

2014年 6月 1日

cafe NO.44  
KiKi



いっきに夏がやってきたような陽気ですが、このところのPM2.5や黄砂の飛散が多いという状況では、気持ちよく洗濯物が干せなかったり、外出にも気を遣ったりと、なんかすっきりしない今日この頃です。先週も北海道が真夏日だったかと思うと、埼玉で雹（ひょう）が降ったりと、心配な天気も続いています。この夏は、5年ぶりにエルニーニョ現象が発生する確率が高いとの予報も出ていますが、どうぞ穏やかな梅雨であってほしいと願うばかりです。

6月の予定

休館日	10日(火)
定休日	毎日曜日



## 「今月のケーキ」・・・「ダブルベリーパイ」350円

サクッと香ばしいパイ生地とクッキー生地に、コクのあるアーモンドクリームを流し、甘酸っぱいブルーベリーとクランベリーをのせて焼き上げた人気のパイです。



## 今月のお気に入り・・・「雨ふい大好き！今回は、かえるが主役！」

～「ずら～りカエル ならべてみると・・・」「かえるだんなのけっこんしき」「せかいのはてってどこですか？」 などなど～



日本にいる43種類のカエルたちが勢ぞろいの「ずら～りカエル ならべてみると・・・」は、とっても楽しい写真絵本です。オタマジャクはどれも一緒と思っていましたが、実は表情がみんな違って、親子を比べてみるのも面白いです。表紙のカエルたちの後ろ姿には、哀愁すら感じます。(^^)「かえるだんなのけっこんしき」は、400年以上も前にスコットランドに生まれ、何代にもわたって歌い継がれてきた

「おはなし歌」を絵本にしたものです。“かえるだんな”のお相手は、“ねずみおじょうさん”、いったいなぜ？って感じですが、プロポーズから結婚式までが描かれています。鮮やかな色彩と、お祝いにつけつけた動物や虫たちが実にユニークで、惹きつけられます。



## 今月の本棚・・・「モーリス・センダックの世界」

～「まどのおとこのまたおこり」「おいしそうなバレエ」「くつがあたらなにをする」「マミー？しかけ絵本」 など～



大のミッキーファンだったというセンダック。映画「ファンタジア」にも強く惹かれ、後の絵本製作に大きな影響を与えたとされています。「かいじゅうたちのいるところ」「まよなかのだいどころ」とともにセンダックの「三部作」とされている「まどのおとこのまたおこり」は、アイダという少女が、ゴブリンにさらわれた赤ちゃんの妹を探しに行き、ゴブリンを退治して妹を助けるというお話です。センダックは物語を作る時、よくモーツァルトの音楽をかけていたとも言われていますが、このお話の中にもモーツァルトが描かれています。絵の美しさと不思議さ、そして何とも言えないゴブリンの不気味さに、思わず引き込まれてしまいます。「おいしそうなバレエ」は、バレエナのプタをねらうオオカミという発想もすごいですが、絵も細部にこだわっていて、新聞の挿絵には、「さよならアキラ・クロサワ」の文字があつたりと、遊び心いっぱい文句なしに楽しめる絵本です。



## ほっとフレイク

新川祭りの前日に来られたカップルのお話。女性の方はすぐに本棚の前の子ども用の木のいすに腰掛け、熱心に絵本を読まれていました。一方カウンターに座られた男性の方とは、ペットの話に花が咲きました。うさぎを飼っておられるとのことで、散歩に行けない為室内で放置プレイ(?)をさせるとか、なつかないうさぎのマイペースさや、仕草の可愛らしさを熱く語られ、思わず「ほおうっ」と聞き入りました。私が去年の暮れに愛犬を亡くした話をすると、自分も今のうさぎは2代目とのことで、心を癒すには絶対また飼った方がいいと勧められました。若い男性とうさぎが戯れる姿もまた、想像すると微笑ましくていいですね。(^^)ノ

